

# 物的環境に関連するインシデント・アクシデント事例

## 事例番号762

発生場所	トイレ	精神・意識障害の有無	無	リスク C. 不適切な環境設定・維持管理不足によるリスク
発生場所（その他）				
関連したもの	ドア	発生内容の分類	転倒	

### 発生内容

トイレ内でスライドドアにもたれかかって転倒したことによる閉じ込め発生

### 概要

脳梗塞で左上下肢に麻痺のある43歳の患者。右から左にスライドさせて開けるドアの洋式トイレに看護師2人で便座へ移乗介助した。トイレ中は看護師1人がドアの外で待機し、排泄終了後に患者が健側で手すりを持っていること、便座に座った状態を確認したあとに、近くにいると思われたもう一人の看護師が不在であり、患者に「すぐに戻るの  
で絶対に動かずにそのまま待っててください」と声をかけてその場を離れた。看護師2人がトイレに到着時、トイレ内から「転んだ。痛い、助けて」と声が聞こえたが、扉の前（便座の左側）で転倒しており、スライドドアが開けられなくなっていた。患者が一人で立ち上がることは不可能で、ヘパリンを使用していることから頭部打撲への影響も懸念され、速やかな救助のため、隣のトイレから天井を超えて救助を試みたが隙間は20cm程度でヒトは通ることができなかった。中央監視盤室に連絡し、隣のトイレの天井を破壊してもらい、看護師が天井を通して患者のいるトイレ内へ入って救助できた。

### 要因

スライドドアに戸袋が設置されていないタイプであり、今回のようにもたれかかるかたちでヒトが転倒した際にドアの開閉が困難になることが予測できていなかった。他に、隣のトイレから天井側の隙間を通して救助することは以前にも何件か院内で発生していたが、今回の部署は天井側の隙間が極端に狭くて、隣室にヒトが入ることは不可能であった。

### 対策

### 参照



天井を破壊したあとに簡易修復した写真で、天井の隙間がせまいことが分かります。